

原料費調整制度に基づく2023年1月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2023年1月検針分の単位料金を調整した結果、2022年12月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき4.46円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年8月～2022年10月の平均原料価格が64,400円/t (2023年1月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を64,400円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年12月検針分と比較して、161円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2023年1月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 | 料金表A 0～24m ³ | 料金表B 25～500m ³ | 料金表C 501m ³ ～ |
|---------------------------------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 基本料金 (円/月) | 759.00 | 1,296.10 | 7,612.30 |
| 調整単位料金 (円/m ³) (参考) | 163.08 | 141.53 | 128.91 |
| 12月 調整単位料金 | 158.62 | 137.07 | 124.45 |

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³) | 2022年 12月 | 2023年 1月 | 増減 |
|---|-----------|----------|-----|
| 適用料金(円/月) | 6,230 | 6,391 | 161 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

| | 2022年7月～2022年9月 の平均 (12月検針分) | 2022年8月～2022年10月 の平均 (1月検針分) | 対前期 差額 |
|-------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 平均原料価格(a) | 66,810 | 71,080 | 4,270 |
| LNG | 142,800 | 152,790 | 9,990 |
| LPG | 101,820 | 98,160 | ▲ 3,660 |
| 基準平均原料価格(b) | 27,350 | | |
| 差額(a-b) | 39,400 | 43,700 | 4,300 |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 152,790 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 98,160 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 71,083.24$$

↓(10円未満四捨五入)

$$71,080 \text{ 円/t (調整上限64,400円/t)}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$64,400 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = 37,050 \text{ 円/t}$$

(調整上限) ↓(100円未満切捨て)

$$37,000 \text{ 円/t}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 37,000 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.0858^{*1} \\ &= 31.74 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³) | 2022年 12月 | 2023年 1月 | 増減 |
|---|-----------|----------|-----|
| 適用料金(円/月) | 6,230 | 6,391 | 161 |

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,296.10円)} \\ &+ \text{調整単位料金(109.79円)} + 31.74 \text{ 円} \times 36 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円(0.078円に1.1(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が64,400円(2023年1月分に適用される調整上限)を超えた場合には、「平均原料価格」は64,400円としてガス料金の調整を行います。